

令和2年8月25日

保護者の皆様へ

朝来市立生野小学校

校長 岸本 達也

通知表の見方について

通知表は、各学期での学習過程の記録です。学校生活全般において、「どのようなことや学習を頑張っていたのか」「努力が必要なことが何か」を表しているものです。

また、通知表は「3」や「◎」の数を数えるものではありません。お子様の各学期での学習等の状況を見ていただき、できているところや伸びているところはさらに伸びるようにほめ、努力が必要なことについては一緒に課題に向き合い、支援していただければと思います。

この度、新学習指導要領実施に沿って観点等の見直しを図りました。

例えば、これまでの「関心・意欲・態度」「思考力・判断力・表現力」「技能」「知識・理解」の4観点が、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点になりました。

これは、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力が、

(1) 実際の社会や生活で生きて働く	「知識及び技能」
(2) 未知の状況にも対応できる	「思考力、判断力、表現力など」
(3) 学んだことを人生や社会に生かそうとする	「学びに向かう力、人間性など」

の“三つの柱”として整理され、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、より一層、指導と評価が一体化したものであるよう(=より生きた力となるように)にするという趣旨に基づいています。なぜこのような資質・能力が必要とされるのか、学校でどう取り組んでいるのかについては、今後も“生小だより”等を通してお伝えします。

<学習の様子>

観点毎のねらいの達成状況に応じて、「よくできた◎」「だいたいできた○」「努力がいる△」の3段階で評価しています。テストの結果だけではなく、日々の学習態度やノートの記述内容、発言内容などを総合的に判断し評価しています。また、3年生以上は、観点毎の達成状況を総合して「3段階」で評定しています。

<生活の様子>

他の児童と比べてではなく、個人の中で、特によくがんばっていたものに「○」、がんばってほしいものに「△」を付けています。顕著なものに付けています。

＜総合的な学習の時間＞

総合的な学習の時間（3年生から6年生）は、各学年のテーマにそって、「活動への意欲・課題を見つける力・情報を集める力・課題を解決する力・伝え合う力・協働する力など」の力の中で、どのような力が発揮できていたかや伸びてきたかを具体的に記載しています。

＜外国語活動＞

3年生・4年生の外国語活動は、学習への意欲や学習中の態度（特にコミュニケーション力）などを中心に記載しています。

＜特別の教科 道徳＞

一昨年度より、道徳は、「特別の教科 道徳」として教科化されました。「一面的な見方から多面的な見方へと発展しているか」や、「道徳的な価値を自分とのかかわりの中で深めているか」などについて、発言内容やワークシートの記述内容から読み取り、記載しています。

＜所見＞

一人ひとりの学校生活の中でのがんばりやすばらしい行動、また、今後の成長に向けた課題などを具体的に記載しています。

＜1年生の通知表＞

1年生の1学期の通知表は、小学校初めての通知表です。お子様の課題にばかり目を向けるのではなく、あわてず、ゆっくり、よい面を伸ばすようにしてあげてください。そして何よりも、ほめることが自信と意欲につながります。

1年生の1学期に限って、学習の観点をより具体的なものにしていきます。